

源光寺池

貯水量：4.800m³

想定される流速：0～7.313m/s

この地図は、当該ため池の堤体が決壊した場合に、ため池内の水により、浸水する箇所を予想し、最大深さでしめしたものです。

実際の氾濫解析の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、周辺の土地利用状況等により、これと異なる可能性もあることにご留意ください。

緊急連絡先

●火事、救急 119番 ●警察 110番

●吉野川市役所 22-2235 (防災担当)

22-2228 (農林業振興課)

浸水想定深について

一般財団法人 日本気象協会
「トクする！防災」 ホームページより

3m以上の時

- 2階床面が浸水するため、2階建て住宅及び2階の住民は、避難が遅れると危険な状態に陥るため、避難情報のみならず、河川の水位情報等にも注意し、必ず避難場所等の安全な場所に避難する。
- 高い建物の住民でも、浸水深が深く、水が引くのに時間を要することが想定されるため、事前に避難所等の安全な場所に避難する。

0.5~3mの時

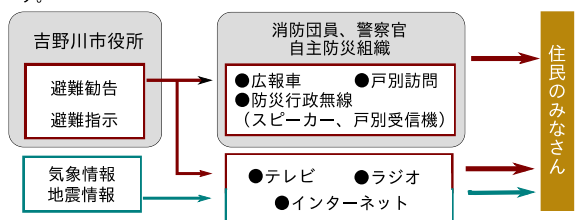
- 1階の住民は、床上浸水となり、避難が遅れると危険な状況に陥るため、避難情報のみならず、河川の水位情報等にも注意し、必ず避難所等の安全な場所に避難する。
- 水・食べ物・貴重品などを2階以上に持って上がる。
- 浸水が始まってからの避難は非常に危険なため、近くの丈夫な建物の2階以上に移動する。
- マンション等の高い建物に居住している場合は、無理に避難する必要はない。

0.5m未満の時

- 地上が浸水すると地下に一気に水が流こんで地下からの脱出は困難となる。
- 車での避難が危険な場合がある。
- 浸水の深さがひざ上になると徒歩による避難は危険。
- 避難が遅れた場合は、自宅等の上層階へ移動する。
- マンション等の高い建物に居住している場合は、無理に避難する必要はない。ただし、浸水が長時間継続した場合や孤立した場合の問題点について認識しておくことが必要である。

▶避難情報の伝達経路と内容

避難情報は下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。また、避難情報には、緊急度に応じて種類（避難勧告・避難指示等）があります。



マップの見方

-  ため池
 ため池_形状
 主要施設
 交通網_県道
 交通網_JR



指定避難所

-  浸水する道路(0.5m～3.0m未満)
 浸水する道路(0.5m未満)
 洪水到達時間(源光寺池)

流向

源光寺池 最大水深(m)

- 0.5m未満
0.5m～3m未満
3m以上



ため池周辺の指定避難所

施設名	住所	連絡先	指定避難所	指定緊急避難場所
川島公民館	 川島町桑村860番地	0883-25-2180	○	○
※△ マークは、スロープがあり、車椅子使用者用トイレが設置されている施設です。				

※マークは、スロープがあり、車椅子使用者用トイレが設置されている。